

三刀屋川河道掘削工事の効果について

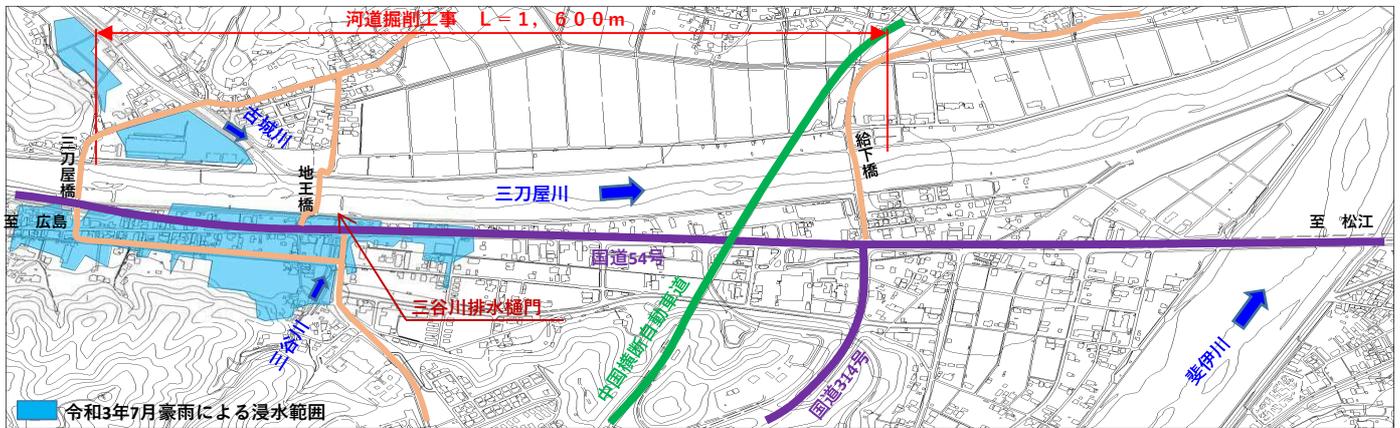
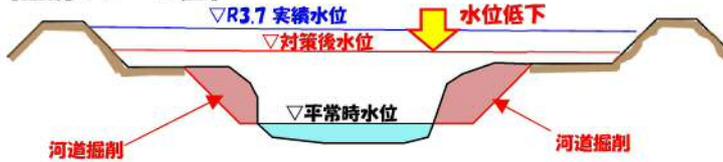
事業概要

令和3年7月の大雨による三刀屋川の水位上昇に伴い、支川の三谷川が氾濫し、雲南市三刀屋町の市街地を中心に床上浸水6戸、床下浸水53戸、国道の冠水などの被害が発生しました。

再度災害防止対策として、三刀屋川の水位上昇を抑制させるため、令和4年2月から三刀屋川の河道掘削工事を進め、令和4年7月に工事が完了しました。



【掘削イメージ図】



事業効果の検証

河道掘削工事完了後の令和4年7月19日に降った雨を対象にシミュレーションを行い、掘削なし・掘削ありの場合の水位上昇低減効果を検証しました。その結果、掘削なしの推定水位に比べ、掘削工事により水位が約70cm低下したという結果となりました。

また、今回の掘削工事により三刀屋川の水位上昇が低減され、支川である三谷川樋門の閉鎖には至らず、掘削工事の効果を発揮しました。



水位比較 (R4.7.19降雨シミュレーション)

